NEAR News

一つの北東アジア、一つの共同体 NEAR | One Northeast Asia Region, One Community NEAR

2015. 5-6

Vol. 62

中国・山東省荷澤市の牡丹

今月の動静

NEAR活動 | 事務局ニュース | 会員自治体の動静 | 会員自治体の行事日程

第2回青少年エッセイコンテスト優秀賞授賞作－モンゴル、韓国、 ロシア

企画取材

平和と繁栄のため済州フォーラム | ロシアの伝統食文化

会員探訪

韓国・全羅北道

北東アジア地域自治体連合

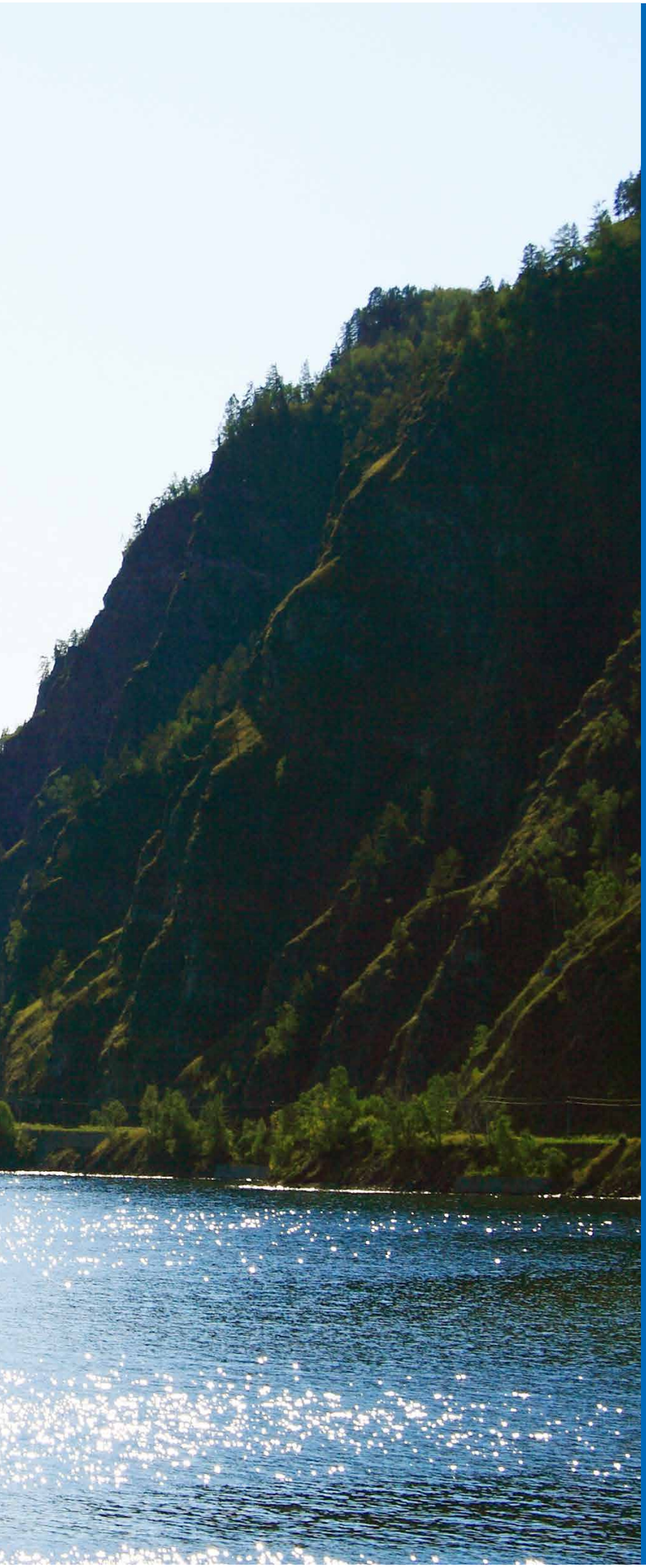
The Association of Northeast Asia Regional Governments

NEAR News

「NEAR News」は会員自治体のニュースを伝え、情報を共有するＮＥＡＲの公式なメッセンジャーとして創刊されました。ＮＥＡＲの活動状況、会員自治体動静、関連国際動向、各種の寄稿、お知らせなどの内容で定期的に発刊しており、会員自治体及び関連機関に無料配布し、ＮＥＡＲホームページにも掲載されます。「ＮＥＡＲ　Ｎｅｗｓ」は会員自治体がともに作っていくニュースレターであり、ＮＥＡＲと北東アジア地域に関心を持つ方はどなたでも参加できます。
「ＮＥＡＲ　Ｎｅｗｓ」に掲載を希望する原稿や斬新なアイデアをお持ちの方はＮＥＡＲ事務局までご連絡いただくようお願いします。

Vol. 62

ロシア・バイカル湖



北東アジア地域自治体連合とは

北東アジア6カ国(日・中・韓・蒙・露・北朝鮮)78の広域自治体(73会員自治体、5オブザーバー自治体)で構成される北東アジア地域における代表的な地方外交協力体であると同時に、国際的な機構でもあります。
北東アジアの共同繁栄を基本理念とする連合憲章を採択し、経済・人文、教育文化交流、環境、防災、国境地区協力、科学技術、観光、海洋漁業、鉱物資源開発・調整、エネルギー・気候変動、女性・児童、生命・医療産業、農業などの様々な分野で幅広い交流・協力プログラムを展開してまいりました。
欧州最大の地方政府協力機構であるAER(欧州地域会議)、R－20(気候行動地域)など国際的な機構との交流を活性化し、パートナーシップの締結、共同事業の推進など、北東アジアを越えて、世界中と繋がる国際協力ネットワーク構築の先頭に立っています。

NEARの門戸は開かれています。

北東アジア地域に位置し、連合の設立趣旨に賛同する広域自治体は、連合の総会の承認を経て参加することができます。

北東アジア地域自治体連合
The Association of Northeast Asia Regional Governments

NEAR活動

第13回防災分科委員会開催

第13回防災分科委員会が、3月9日(月)～12日(木)の期間、日本の兵庫県で開催された。今年は中国5団体、韓国5団体、モンゴル9団体から32名が参加した。NEAR事務局からも金相吉事務処長が出席し、意見交換とNAERの広報を行った。

防災分科委員会は、ＮＥＡＲ会員団体の防災担当者の実戦能力の向上を目指す研修や広域防災協力の枠組みづくりを通して北東アジア地域の減災能力の向上を図るために2002年から開催されている。今年は1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」から20年目にあたる年。兵庫県は大震災以降、その経験と教訓を活かし、様々な防災対策や施設整備を実施してきた。

分科委員会の日程の多くが施設の視察にあてられた。1日目には 震災当時の映像や記録を展示し、防災・減災社会実現のために必要な知識を学ぶことが出来る「人と防災未来センター」、2日目には「兵庫県広域防災センター」「神戸港震災メモリアルパーク」「神戸市危機管理センター」などを訪問した。

参加者のほとんどは、各会員団体の防災担当者で、兵庫県の先進的な施策を学ぶことができた。

近年、モンゴルからの参加者が増加しており、今回も参加者の半数近くがモンゴルの会員だった。昨年まではモンゴル語の資料が無く、参加者には不便をかけていたが、今年はＮＥＡＲ事務局が翻訳と通訳の支援を行い、モンゴル語の資料と通訳を提供することができた。

事務局ニュース

全哉垣(チョン・ジェウォン) NEAR新事務総長の赴任

4月1日から全哉垣NEAR新事務総長が赴任した。連合憲章第13条に従い、事務局が所在する慶尚北道の金寛容(キム・グァンヨン)知事が推薦し、連合議長であるロシア連邦イルクーツク州のセルゲイ・エロシェンコ知事が任命した。全哉垣新事務総長の主な履歴は下記の通り。

主要履歴

1997年：中国北京大学校政治学博士
1978年：韓国外務部(日本の外務省にあたる)に入部
1984年：駐アガナ(グアム)韓国領事館副領事
1991年12月：駐北京代表部韓国大使館2等書記官
1992年8月：駐中国韓国大使館2等書記官[名称変更による]
1997年12月：駐オークランド韓国領事館1等書記官
2001年7月：韓国外務部広報課長
2002年12月：駐バンクーバー韓国領事館副総領事
2006年6月：駐上海韓国領事館領事
2009年6月：駐瀋陽韓国領事館副総領事
2011年8月：駐西安韓国領事館総領事

NEAR事務局 – 日本兵庫県・島根県との意見交換会

3月12日、兵庫県庁で金相吉(キム・サンギル)事務所長を代表とするNEAR事務局訪問団は、兵庫県と島根県の関係者と意見交換会を行った。会議では、主に総会運営、会費制の導入、分科委員会の運営について論議した。その内容は次のとおり。

一点目は、「総会等の運営」について。現在、総会議題は総会前年度に開催する実務委員会に上程し会員自治体の意見をまとめてから総会に上程しているが、今後は主要議題は会議が開催される１ヶ月前までに会員自治体に提示して意見をまとめ、実務委員会及び総会に上程し論議しようという内容。

二点目は、「会費制の導入」と「分科委員会の運営」について。第10回総会時に事務局で提案した案件を会員自治体の意見をまとめ、今年の実務者ワークショップで討論しようという内容。

今回の意見交換会は富山県、兵庫県、島根県で、昨年開催したNEAR全羅南道総会の会議運営と討論内容の一部について問題提起し、NEAR事務局の呼びかけで開催された。

2015海外派遣公務員の確定

海外会員自治体から派遣され、今後1年間NEAR事務局で勤務する派遣公務員が新しく事務局に赴任した。派遣公務員は次の通り。日本とモンゴルは1年延長勤務することとなった。

・*中国派遣公務員*
鄧薇
(湖南省、+82-54-223-2326)

・*日本派遣公務員(統括官)*
松尾周一郎
(島根県、+82-54-223-2386)

・*モンゴル派遣公務員*
バトソイル・オンドラフ
(フブスゴル県、+82-54-223-2327)

・*ロシア派遣公務員*
グロ・ヤナ・ブルラディミロブナ
(アルタイ地方、+82-54-223-2325)

会員自治体の動静

山東省 – 中国

菏澤国際牡丹文化観光フェスティバル

山東省観光局、菏澤市人民政府が主催する「第24回菏澤国際牡丹文化観光フェスティバル」が、4月16日から5月31日までに開催される。開幕式、2015中国菏澤投資貿易相談会等、約60あまりの行事が開催される予定。

菏澤市は山東省南西部に位置し、旧地名は「曹州」で、8県3区で構成されている。人口は840万人、面積は12,238㎢である。菏澤市は「中国牡丹の都市」であり、世界で最も牡丹栽培の歴史が長く、最も大きな栽培面積を持っている。また、牡丹品種を最も多く持っており、牡丹生産・研究・輸出の基地である。菏澤市の牡丹栽培の歴史は400年を超えており、菏澤の牡丹栽培面積は320㎢で、大きく分けると9種類の色と10種類の模様があり、保有している品種は1,237種ある。中国内外で花卉展示品評会で何度も授賞したことがある。

ZHONG GUO MU DAN ZHI DU
中国牡丹之都
中国・菏泽

菏澤国際牡丹文化観光フェスティバル
エンブレム

湖北省 – 中国

武漢市で「第9回中国中部地域投資貿易博覧会」を開催

- 期間：2015年5月18日～20日
- 場所：湖北省・武漢市
- 主題：開放協力、転換発展、崛起振興
- 主要行事：主題フォーラム、投資貿易展示、プロジェクト・マッチング、協力相談等
- 公式ホームページ：
  http://expocentralchina.mofcom.gov.cn/

EXPO
CENTRAL
CHINA
中部博览会

中国中部地域投資貿易博覧会
エンブレム

・主催：中国商務部、中国国家税務総局、中国国家工商総局、中国新聞出版放送総局、中国国際貿易促進委員会、中国工商業連合会、中国工業経済連合会、山西省人民政府、安徽省人民政府、江西省人民政府、河南省人民政府、湖南省人民政府、湖北省人民政府
・主管：中国商務部投資促進事務局、湖北省商務庁、武漢市人民政府

新潟県－日本

「新潟春節祭」を開催

新潟県は2015年2月14～15日に中国総領事館などと共催で「新潟春節祭」を開催しました。開幕式には程永華中国大使、新潟県知事、新潟市長のほか、韓国・ロシア・中国の総領事などからも出席いただき、北東アジアの表玄関新潟にふさわしい華やかな顔ぶれとなりました。

中国の正月「春節」に合わせ、獅子舞・舞踊・変面などの芸能がステージで披露され、山東饅頭・刀削麺などの飲食、絵画・書道・湖南刺繍などの芸術、飴細工・年画・切り紙などの手工芸が出展しました。

このイベントには２日間で延べ６万５千人が来場しました。訪れた人々は、獅子舞の派手な動きに大きな拍手を送り、おいしい本場の食べ物に舌鼓を打つなど、中国の正月を満喫していました。

ステージで演じられた獅子舞

山形県－日本

中国ハルビンで「山形県美食フェア」を開催 一層の交流促進を

山形県が友好県省を結んでいる中国黒龍江省ハルビン市に「山形県ハルビン事務所」を開設して、今年10月で５年目を迎える。中国における本県の拠点として、経済交流や技術・学術・文化交流などを進めている。

今年２～３月には、山形の食や物産をＰＲするため、ハルビン市内の日本料理店２店舗で「山形県美食フェア」を開催した。目玉メニューは県産日本酒（８銘柄）、利き酒セット、日本酒カクテル、山形名物の芋煮など。ハルビン事務所の職員が各店舗で来店客へ商品を説明するとともに、ハルビンで人気のパワーブロガーの方々にも味わってもらい、それぞれのブログで紹介いただいた。訪れたお客様には、特に日本酒と芋煮が好評を博し、山形についても興味を持っていただいたとのことである。

2013年にはハルビンでスキープロモーションを実施し、ハルビンからも山形の蔵王へスキーに来ていただいた。山形県ではインバウンドに力を入れており、海外からお客様をお迎えするにあたり、受入態勢の整備も進めている。今回のフェアを一つのきっかけとして、中国をはじめ多くの方々に山形について知っていただき、また実際にお越しいただいて、一層の交流を深めていきたい。

慶尚北道－韓国

第3回環東海(日本海)国際シンポジウムの開催

中国の「長吉図開発」とロシアの「新東方政策」、ロシア・北朝鮮の「羅津-ハサンプロジェクト」等で環東海(日本海)経済圏が浮上して

いる中、慶尚北道・浦項市では「慶尚北道圏-環東海(日本海)圏-北東アジア経済圏-ユーラシア圏」等の多様な空間を活用した複合戦略が必要であり、そのためには環東海(日本海)圏域の国家と地方開発との連繋と国際的経済協力ネットワークを構築する必要があると提起した。これにより、環東海(日本海)発展フォーラム関係者、慶尚北道と浦項市が共同主催となり「第３回環東海(日本海)国際シンポジウム」が２月２６日浦項市庁の大会議室で開催された。

今回のシンポジウムでは、金寛容慶尚北道知事、李康徳(イ・カンドク)浦項市長をはじめとする国内外専門家と市民等約200人が参加し、韓国・ロシア・中国・日本の権威の有る研究者達の主題発表と討論が行われた。また、浦項市をはじめとする慶尚北道東海岸が環東海圏の共同繁栄の拠点として遂行できるよう９の関係機関が参加した中で「環東海(日本海)拠点地域育成向けの業務協約(MOU)」も締結した。

この日、金寛容慶尚北道知事は歓迎の挨拶を通じて「大陸と海洋を含む巨大な変化の波の中、環東海(日本海)圏は近い将来に世界経済を主導する新しい機会の場として急浮上するだろう」と述べ、「北東アジア経済ブロックの発展のため、関連国家間の協力と地方政府の役割を一層深めるべきだ」と強調した。

仁川広域市－韓国

2015世界教育フォーラムの開催

2015世界教育フォーラムが、5月19日から22日まで、仁川松島コンベンシアで開催される。ユネスコが主催し、韓国政府が主管する今回のフォーラムには、ユネスコ195会員国の代表団と国連をはじめとする国際機構代表等の約1500人が参加する。

主要目標は「全てのための教育運動(EFA)」と「2000年採択された新千年開発目標(MDGｓ)」の教育分野成果を総合的に評価する等、これらを通じてこの先15年を率いる世界教育アジェンダ設定を目標とする。今年は、これまで15年間行われた「全てのための教育」成果評価、ポスト2015教育議題及び実質的履行方案、その他主要主題別に論議を行い、合意されたポスト2015教育議題と実質的な履行方案は今後国連レベルでの開発議題として反映される予定だ。

※2015世界教育フォーラムに関する内容は、次のサイトを参照
2015世界教育フォーラム：www.wef2015.go.kr

＊EFA (Education For All)：1990年、タイ・ジョムティエン世界教育会議を契機に発足したユネスコ主導の全世界的基礎と文解(読み書きの能力)教育普及運動である。修正・補完を経て、2000年にセネガル・ダカール世界教育フォーラムで具体的な目標及び実行計画を提示した。
＊MDGs(Millennium Development Goals): 2000年国連主導で発足した「世界貧困減少」のための開発協力目標

大田広域市－韓国

韓国内初、「外国人専用」シティー・ツアー運行

大田広域市は、韓国内初「外国人専用」シティー・ツアーを4月から事前予約制で運行する。大田広域市は、外国人が好むコースを開発し、地域観光業、韓国伝統市場の活性化に向け4月から10月までの毎週土曜日（週中は団体予約）にヒーリング、体験、祝祭、伝統市場と連繋し、4つのコースで運行すると明らかにした。また、国際学術大会等のDCC(Daejeon Convention Center)行事参加者、ホテル宿泊の外国人、外国人留学生の家族、大徳(デドク)研究団地の居住外国人、その他地域の居住外国人を対象に「外国人専用」大田シティー・ツアーを事前予約制で運行する。

大田広域市の関係者は「外国人専用シティー・ツアーは、外国人観光解説者が搭乗し観光地を説明する。また、鶏足山土足祝祭、儒城温泉文化祝祭期間にもコースに反映し、外国人利用者が体験できるよう運行する計画だ」とした。

ツアー所要時間は約5時間。料金は昼食を含む25,000ウォン。予約の問い合わせはインターネット(www.hantour.kr)で。

コース	運行路線
Aコース	鶏足山(ケジョクサン)黄土路、南澗精舎、中央市場、儒城足湯体験場、信友免税店
Bコース	錦江ロハス道、 大清湖生態湿地公園、中央市場、儒城足湯体験場、信友免税店
Cコース	プリ公園、無愁天下村体験、長泰山自然休養林、儒城足湯体験場、信友免税店
Dコース	無愁天下村体験、プリ公園、中央市場、儒城足湯体験場、信友免税店

フブスゴル県－モンゴル

フブスゴル湖で「氷フェスティバル」開催

モンゴルの冬観光イベントの一つである「氷フェスティバル」が、2000年から毎年3月3日から4日まで、フブスゴル湖一帯で開催されている。美しいフブスゴル湖を広報し観光シーズン期間を伸ばすという目的で、フブスゴル県の特別保護地域局で主催している。

初期は地域民のみ参加したが、最近は海外観光客が多く参加している。フェスティバル期間には、単独及びチームとして参加できる文化芸術公演、多様なスポーツ・ゲーム等が行われる。フェスティバルのハイライトは、氷の上で行う馬ぞり競技。また、フェスティバルにはトナカイ遊牧民も参加するため、民族の文化、トナカイ乗り等が体験できる。それ以外にも、毎年ある特定の主題で氷の欠片で作る氷タウンで氷ゲル(GER、モンゴル伝統家屋)も訪問できる。

アルタイ地方－ロシア

国際観光フォーラム「VISIT ALTAI 2015」

4月24日から5月1日まで、ロシア・アルタイ地方のバルナウル(Barnaul)市、ベロクリハ(Belokurikha)市、観光・休養特別経済区域であるターコイズ・カートン(Turquoise Katun)地域の3ヶ所で国際観光フォーラム「VISIT ALTAI 2015」が開催される。

今年で2回目を迎える国際観光フォーラム「VISIT ALTAI」を中心に、ロシア国民のアルタイ地方観光とレジャーに対する関心と支持を基にアルタイ観光産業は日々発展している。

このフォーラムは、ロシアとその他の国との会議と対話のため、唯一の統合窓口として役割を果たしている。アルタイ地方の独特な地理的位置と観光開発の経験を共有しながら、全世界の観光地の相互協力拡大、最適な観光経営に関する論議、現在観光市場で求めている答えを見だす、地域及び国際共同組合間の新しい形態の発展、観光の革新的技術導入開発等を論ずる。フォーラム期間中に下記のような多様な付帯行事が行われる。

行事名	行事内容
ALTAI Tour. ALTAI Resort-2015	4月30日から開催する「第5回アルタイ専門博覧会」である。約250社がブースに参加し、展示会、ラウンドテーブル、ビジネス相談、プレゼンテーション、コンサート等を行う。
ツツジの花	5月1日に開催する「ツツジの花」は、スポーツ模範競技、作品写真展示会、子供芸術作品展示会、芸術公演、アルタイ地方伝統工芸特講、ツツジの花会場の観光プログラム、写真コンテスト「アルタイの花」、「アルタイ・ツツジの花」という主題で公募展等の多様な行事が行われる。
第2回シベリア観光ガイド説明会	参加者同士で観光分野の経験を共有し、問題点と発展展望について論議
シベリア ホテルマン キャンプ	専門ホテルマンの能力向上のための教育セミナー

第2回NEAR青少年エッセイコンテスト

概要

NEAR事務局は、会員自治体間における協力・交流の活性化に向けて会員自治体の青少年(14～18歳)を対象に、「第2回NEAR青少年エッセイコンテスト」を行った。 北東アジアに関連した自由テーマで、中国6点、日本4点、韓国9点、モンゴル5点、ロシア22点の合計46点のエッセイが提出された。最優秀賞1点と国別優秀賞を1点ずつ選定し、授賞した。

第2回NEAR青少年エッセイ | **優秀賞 <モンゴル>**

北東アジアの長点

モンゴル
オブス県
パトゥチェチェク

私が知っている北東アジアは、とても独特で特徴ある地域だ。経済的な面からみると、急速に成長している「中国」、スーパー経済力量を備えた「日本」と「ロシア」、不景気の「北朝鮮」がある。社会・政治的な面からみると、これら国家は相互不信の関係を経てきた。この地域のイシューは、中国の急成長、日本景気の鈍化、朝鮮半島の対立等が挙げられる。さらに、政治的内部構造をみると、日本のアメリカ型民主主義、韓国とモンゴルの民主主義、中国共産党政権下の政治制度、北朝鮮の独裁体制等、確実に違いがある。

北東アジアは、豊かな自然資源と経済発展の可能性が高いため、地域内の交流協力を通じてシナジー効果が創出できるだろう。北東アジア地域内の国家は、両国間又は三国間における交流を主に行っている。日中韓経済パートナー交流は、北東アジアのみならず、世界経済貿易にも大きく影響を与える。これら国家は、相互競争もするが、協力は競争より効率的であることが分かる。
中国は2004年から革新政策を行い、東北3省の重工業を発展させた。
モンゴルの対中国の貿易依存度は大きく、日常生活品をはじめとする衣類や食品も中国から輸入している。

北東アジアの人々は、他国で生活しながら相互文化を学んでいる。例えば、中国移住労働者がモンゴルの道路建設や鉱山分野で沢山の活動を行っている一方で、モンゴルから韓国へ移住し働く人も多い。これは生活水準が低い国民が海外に移住するように見えるが、自国に職場があるにも関わらず海外で働く事を好む人もいる事を理解しなければならない。。

同じ地域で暮らす我々北東アジアの国家は、隣国に配慮しながら共に暮らすべきだ。日韓の感情対立と韓国と北朝鮮の不信と対立を平凡な国民は望まないだろう。

16歳になった私の目からみると、北朝鮮に住む同じ年頃の子供が世界から孤立したまま、一人の独裁者の下で暮らしている姿を見ると心が痛む。全世界的に8歳から80歳まで老若男女の誰もが自由に着れる「ジーンズ」を北朝鮮ではアメリカ文化として扱われ禁じるということは気の毒だ。そして、中国は人口数と共に急速な経済成長により、世界では先進国であるが、「一人っ子政策」は、高齢化、生産労働力の監査、性比不均衡等の副作用をもたらす。

しかし、北東アジアは飢餓、戦争等、他の地域で起こる深刻な問題はなく、比較的に安全な地域である。モンゴルは開発途上国であるが、それと比較し北東アジアの他国は先進国だ。したがって、我がモンゴルの青少年は自国の発展のため今から一生懸命勉強し、国家で必要とされる人材になるために努力すべきだと思う。
モンゴルの諺で「家庭は同じ生命、隣人は同じ心」という言葉がある。この言葉のように、最適な地理的条件と豊富な資源、最大の人口数保有等の長点を持つ北東アジア地域の主人である私達は、隣国を常に助け、兄弟のように仲良くなれば、ヨーロッパ連合のように団結できると確信する。

最後に、北東アジアは、スーパー経済型「日本」、国防力の高い「ロシア」、潜在力の有る「モンゴル」、急速に成長する「中国」、社会主義体制の「北朝鮮」、そして人文社会(人権を重要視する社会)である「韓国」が存在する地域である。

第2回NEAR青少年エッセイ｜**優秀賞 <韓国>**

北東アジアが持つ意味と青少年としての役割

韓国
慶尚北道
朴秀婉(パク・スワン)

激動する21世紀、人文と社会の全般に至り急変する社会をみると、まさに「息苦しい」としか言葉が浮かばない。科学発展という名の下、我々の世界は水と海を超え地球、そして宇宙へと拡大し、国境の無い「完全グローバル」という概念が出てきた。全世界的価値観は、和合と多様性を尊重する雰囲気を漂わせるが、一方ではあまりにも速い変化による副作用もある。

その課題を真に解決するには、世界は新しい精神的価値と道徳的な基準が必要となる。人間中心的でかつ合理的な意志を高く評価する「西洋」が産業革命を急がせたように、これからは自然親和的で包容の美学を持つ「東洋」の世界観、つまり我が北東アジアの哲学が一つの問題解決策として浮かんでいる。環境破壊と人間疎外のような問題をもたらした「価値観の揺れ」に対し、アジア的世界観はその根本的な答えを提示できよう。あえて、儒家の教えや老荘思想を言及しなくとも、自然と人間が調和を成す世界観は開発中心の科学文明の不足な部分をたやすく治癒できるだろう。

私は、授業時間を通じて、環境と地球について学べる機会が非常に多かった。その度に、「反対給付」の深刻性を実感し、残念な気持ちになる。また、私が属している地域であり、毎朝朝刊の一面で見る「北東アジア」の利害関係による国家間の葛藤も欠かせないだろう。では、このような問題をどう解決できるだろうか。

その解決の糸口は、まさに我々「青少年」にあると思う。21世紀を生きる青少年こそ、過去と未来を結ぶ架け橋であり、現時代のアイコンとも言えよう。過去、産業革命から今の成長が始まったように、もはや「葛藤の無い平和な地球」に戻り、これとは違う「始まり」を図るべきだ。その背景には、成熟した世界市民意識と持続可能な開発のための価値観が必要だ。つまり、このような状況で環境親和的で包容力のある「東洋的価値観」と哲学に可能性をかけるべきだと思う。つまり、これは国際社会の関心が北東アジアに傾いており、そして我々北東アジア青少年が人文と科学を含む多方面人材として成長しなければならない理由である。

このような人材になるために切実的に必要なものは、「正しい価値観を持つ」ことである。青少年達の考えが北東アジア地域内での国家的葛藤と分裂で妨げることは無いようにし、このような葛藤が次の世代に継承しないよう積極的な努力が必要である。葛藤に対する接近法は、責任感もあり、相互協力的であり、また、各国の文化に対する尊重と自分とは違う意見に対する配慮をベースに行うべきた。各国の立場を歪曲や誤解無しに理解するよう青少年達で定期的に意見を交換する場が必要であり、我々が参加し主導できる「青少年文化自治団体」という組織を作り、各国の文化と立場に対する正しい認識を広めるよう努力すべきだ。

そのためには、北東アジア各国の文化的理解と正しい歴史認識を定立する努力が必要だ。北東アジアの歴史と価値観は分離できない緊密な関係である。一例として、海外旅行で同じアジア圏の人に出会った時、単に似た地域(環境)であったことで同質感を感じ、コミュニケーションする中にアジア的同質性に気づき、より絆を深めた経験が多数ある。それほど、類似な文化と価値観が持つ力は大きいということだ。国家別に詳細な部分においては利害関係が異なるが、このような文化的土台の上で、我が北東アジア国家でその価値を保つため互いに力を合わせることだ。文化的交流を通じた「理解」がお互いをありのまま見つめ合い尊重する態度へと変え、連帯感を強固にするだろう。北東アジア国家の皆が認める歴史教科書を作るため、各国で協力し合う等青少年向けの正しい教育の枠を整えることが基本だと言える。このような努力を基に、持続的に発展して行くとするその「意志」が北東アジア地域全体を包む「共同体意識」を回復させることができるだろう。我ら青少年は、このような共同体意識を基に、北東アジアの精神文化を世界レベルへと拡大させ、未来の我が世代に与える課題を充実に遂行することができるだろう。

また、私達は東洋哲学の別の側面である「科学と人文学の融合」を通じて、新しい成長方向を立てられる。全ての分野にかけて調和を追求する態度を身につける必要がある。そして、我々が生きる未来社会は、相互の多様性が大きな調和を成している社会であるため、未来社会を引き寄せるのに良い道しるべとなるだろう。

北東アジアがこのように影響力の有る思想の根源地である以上、北東アジアの未来世代が担う任務は重大であることは当然の事だ。東洋思想を現在的に再解釈し、その思想の包容力を広く伝達するためには、自ら文化に対する理解しようと努力する態度が重要だ。北東アジア青少年同士で、古典についての討論を持続的に行う「学術的機会」を作り、それらが日常生活にも染みこむよう若い世代のアイデアを引き出す必要がある。再度見直し解釈されている我がアジアの思想と哲学が北東アジアの現代社会に染み込み、発展の土台になり、世界の精神文化を率いる基となるだろう。能力ある人材の関心が北東アジアで成し遂げた文化的蓄積となり、国家間の協力を基に学術的研究が活発的に行われば、近いうちに現在の問題を解決する糸口が見つかるだろう。これにより、北東アジアは未来社会の安定的な支えとして未来方向を提示する能力を持つことになる。

今、この瞬間にも時々刻々、社会は一歩前の未来に向かって行く。もはや、私達はより良い明日に向かって、地球の安寧と世界平和を追究する時代が来ている。このような状況の中、東アジア青少年の役割と努力は、全世界人のためであるべきだ。世界の成熟した市民として、そして持続可能な地球のため、一つの北東アジアの文化的背景下で誕生した我々世代は未来社会を率いるに十分な力を持っている。このような心構えで絶えず努力すれば、未来社会での北東アジアは世界文化と政治、経済等のその先を照らす灯火として大きな役割を果たす事になるだろう。

第2回NEAR青少年エッセイ｜**優秀賞 <ロシア>**

北東アジアで私はどういう市民であるか？

ロシア
トゥヴァ共和国
パトゥチェチェク

今日の私達は、グローバル世界、複合文化社会、世界で「能力ある市民」に関する話題等に日々接している。

皆それぞれが、どこに住み、何がしたいかを選択できるという点では、さほど悪くない。しかし、祖国、生まれ育った町、生まれて初めて見る空、荘厳な山、波でうねる川…。自分の身の回りと母国に対する関心と注意を注ぎ、愛し感謝する心、民族の風俗と伝統を大切にする心をまずは考え、自分がどこに住み何をして行きたいかを選択する順であろう。

北東アジアは、日本、ロシア極東、ロシア・シベリア、韓国、北朝鮮、モンゴル、中国、台湾が属している巨大な大陸である。私の祖国はトゥヴァ共和国であり、シベリア南東部に位置し、アジアのど真ん中にある。トゥヴァ共和国は、最も美しく、ロシアで大切な場所でもあり、土着民のトゥヴァ人をはじめとする多様な民族が暮らしている。トゥヴァ人以外にも北東アジアには、日本人、韓国人、中国人、モンゴル人、ロシア極東住民が住んでいるが、何が彼らを一つに結んでいるのだろうか？北東アジアの民族は、数世紀に渡って引き継がれる世界文化遺産に至大な貢献をした神話、民潭、伝説、音楽、諺、格言等、我々の生活にそのまま吸収した民俗学をはじめとする多様な伝統と慣習を心の奥から深く尊重している点が共通している。北東アジア民族は、石(トゥヴァ共和国、韓国、中国)と骨(日本、中国、極東少数民族、シベリア)でできている伝統工芸芸術品、絵、装飾、伝統衣装と靴、住居形態、道具、家庭用品、アクセサリー、楽器等、偉大な遺物が多い。

北東アジア居住民は、厳しい環境により、彼らの世界観に何かの影響が及ばされたと考えている。トゥヴァ人は遊牧民である。昔から我が民族は、厳しい自然環境に適用するため、皆が近所に住み、何かあった時には助け合い、他人を愛することを子供の時から教える。また、貧しい人には獲物を配り、キビすら食べられない人のために分けて食べる。これが我がトゥヴァ共和国民族は、勤勉で、社会的で、目上の人を敬い、子供達を保護する民族であることが分かる。このような民族が一つとなった心がなければその民族は滅びるしかない。

北東アジアで、私はどういう市民であろうか？今日、どういう「市民」であるべきか？今日の「市民」は、現代的で、教育された寛大な人であり、どの国の人とも対話の門を開き、また、他の民族の文化、慣習、伝統を尊重し、その価値を大切にし、急変化する現代生活を感じながら、そのリズムに沿って生きる人である。その一方で、自分の故郷、自分の民族、母国だけに無限の愛と自分の地域民だけての恩恵を与えたりもする。

北東アジアの市民は、資質の整った世界市民である。北東アジアの市民は、地域の隣人と最も離れた所(地球の正反対側)にいる住民にも尊敬する心がある。ヨーロッパ、アフリカ、その他の大陸の市民と北東アジア市民の違いは、外見のみならず、おそらく感情表現を自制することのようだ。彼らは、省察と黙想をし、勤勉誠実で、多様な才能を相互共有している。北東アジア住民の世界観は、生活条件(遊牧民であるか等)により、数世紀にかけて進化発展し、一人では生活できないことと自分の利益だけを追求すると他人に尊敬されないこと。

アジア文化は、絵、木彫、石、金属、陶芸、自由な旋律の音楽、伝統踊り、意識と慣習が表現された霊的価値が数世紀を経て積み重なってきた。伝統芸術の種類には、美しい自然と生活が反映された民族固有の芸術表現方法がある。北東アジア国家の市民には、各民族固有のアイデンティティが反映されており、古代遺物を保存し、伝統と慣習を尊重し、自然と地球上の全ての生物体を保護し、個人と自分の民族を意識するという共通点がある。

私の考えとしては、今日の世界市民は、個人の要求事項や関心事項に関しても、自分が住む社会の未来に関しても、環境問題、国家・地域間の紛争、そして天然資源の不足なども考えてみる必要がある。このような全ての条件が取り備えられてこそ、北東アジア市民としての資格があり、特に今後は、努力と忍耐で逆境を乗り越えなければならない。全世界市民それぞれが民族の代表であるため、自分の民族のみならず地球全体の幸福と繁栄を望み、自分の能力と経験を共有し、他の民族の良い経験を学ぶべきだ。しかし、自分の祖国、自分の地域を愛することには私心が入る。我々は、祖国の繁栄をただ単に望むだけでなく、発展するため最善を尽くす努力をしなければならない。

今日、多くの人は、国境もなく、広い意味では「全世界の市民」だと言う。これは、決して悪いことではない。しかし、民族ならではの精神を失い、民族の伝統と慣習、伝統的生活方式、伝統芸術等を失っていくことが残念である。

今日、我が世界は、保護(関心を持って見守る)しなければならない「大きな庭園」みたいだ。地域毎に花の種類がそれぞれ違うのではなく、野原に無数の一種類だけの花があるとしたらどうだろうか？

世界市民として北東アジア市民の重要な義務は、各自の生活の中で文化と伝統を保存しながら世界文化遺産を後代に残すことだと思う。

私は、北東アジアの市民でもあるが、トゥヴァ共和国の市民でもある。私は、全大陸の大部分を占有している「ロシア」という国で生まれ、過去と現在、個人と社会、固有・普遍的なことが相互調和を成した美しい「トゥヴァ共和国」で生まれたことを誇りに思う。

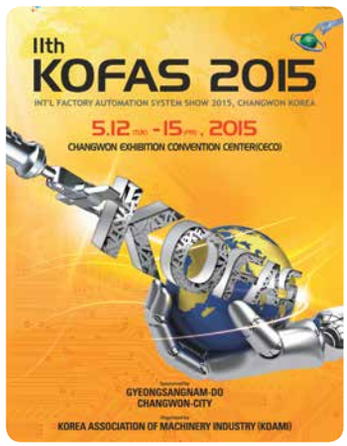
もし、トゥヴァ共和国を離れ遠い所に行くとしても、トゥヴァ共和国の全て物事、果てしない野原、広々とした青空、純白の波雲、野原の羊群、北極海側に突進するエニセイの反抗的な声(エニセイ川が北極海に向かって激しく流れて行く様子を描写)、鷲が回る巨大な絶壁の稜線・・・穏やかなメロディーのトゥヴァ共和国固有の音楽を聞きながら飛行の楽しさを満喫するだろう。アジアの真ん中にある私の母国を無限に愛し、感嘆するしかない。

私は、地球上で最も素晴らしい地域の一つである北東アジアの幸せな市民である。

会員自治体の行事日程

May

2015.5

Sunday	Monday	Tuesday
・自治体：中国 河南省 ・行　事：2015洛陽ボタン(牡丹)展示会 ・期　間：5月 ・場　所：洛陽市 ・連絡先：河南省旅游局 T.+86-371-67448741 F.+86-371-67448741 http://www.zhengzhou.gov.cn	・自治体：ロシア ブリヤート共和国 ・行　事：ウラン・ウデ産業関連国際貿易博覧会 ・期　間：5月 ・場　所：ウラン・ウデ市	
3	4	
・自治体：ロシア 沿海地方 ・行　事：沿海地方の観光と休養の週間 ・期　間：5月21日～5月23日 ・場　所：ウラジオストク市 ・連絡先：沿海地方観光局 T. F. +7-423-240-2321 Kvint_kk@primorsky.ru	10	・自治体：韓国 慶尚南道 ・行　事：国際自動化精密機器展 ・期　間：5月12日～5月15日 ・場　所：昌原コンベンションセンター ・連絡先：韓国機械産業新興会 T. +82-2-369-7801
・自治体：ロシア クラスノヤルスク地方 ・行　事：「現代保安システム-テロ防止」フォーラム ・期　間：5月27日～5月29日 ・場　所：クラスノヤルスク市 ・連絡先：T. +7-391-22-88-611 www.krasfair.ru		・自治体：韓国 仁川広域市 ・行　事：2015世界教育フォーラム ・期　間：5月19日～5月22日 ・場　所：仁川松島コンベンシア ・連絡先：仁川広域市教育企画官室 T.+82-32-440-2163

June

2015.6

		2
7	8	9
14	15	16
21	22	・自治体：ロシア ブリヤート共和国 ・行　事：第6回国際安保問題高位代表会議展示会 ・期　間：6月23日～6月26日 ・場　所：ウラン・ウデ市

Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
		1	2
	7	・自治体：韓国 釜山広域市 ・行　事：第29回釜山青少年芸術祭 ・期　間：5月8日～5月18日 ・場　所：釜山市民会館等 ・連絡先：釜山広域市庁 文化芸術課	9
・自治体：韓国 大邱広域市 ・行　事：第12回大韓民国国際消防安全博覧会 ・期　間：5月13日～5月15日 ・場　所：大邱EXCO ・連絡先：FIREEXPO 2015 事務局 T. +82-53-601-5364 http://www.fireexpo.co.kr/kor		・自治体：中国 山東省 ・行　事：第6回中国(廣饒)国際タイヤ及び自動車部品博覧会 ・期　間：5月15日～5月17日 ・場　所：東営市 廣饒 ・連絡先：T. +86-546-7799667 T. +86-546-7799666	・自治体：韓国 光州広域市 ・行　事：2015世界人権都市フォーラム ・期　間：5月15日～5月18日 ・場　所：金大中コンベンションセンター ・連絡先：光州市庁人権平和協力官室 T. +82-62-613-2071
・自治体：NEAR事務局 ・行　事：NEAR実務者ワークショップ ・期　間：5月20日～5月22日 ・場　所：慶尚北道 慶州市 ・連絡先：NEAR事務局 T. +82-54-223-2317	・自治体：日本 京都府 ・行　事：KYOTO SMART CITY EXPO 国際シンポジウム ・期　間：5月20日 ・場　所：国立京都国際会館 ・連絡先：京都スマートエキスポ運営協議会 T. +81-75-823-1109	・自治体：韓国 済州特別自治道 ・行　事：第10回平和と繁栄のための済州フォーラム ・期　間：5月20日～5月22日 ・場　所：済州道一帯 ・連絡先：済州特別自治道 平和協力課 T. +82-64-710-6265	・自治体：日本 京都府 ・行　事：KYOTO SMART CITY EXPO 2015 スマートシティメッセ in けいはんな ・期　間：5月21日～5月22日 ・場　所：けいはんなオープンイノベーションセンター、けいはんなプラザ ・連絡先：京都スマートエキスポ運営協議会 T. +81-75-823-1109
3	4	5	
10	11	12	13
17	18	19	・自治体：ロシア カムチャッカ地方 ・行　事：エベンキ祝祭「ヌルゲネク」(踊りフェスティバル) ・期　間：6月20日～6月21日 ・場　所：アナバイ部落 ・連絡先：アナバイ部落「伝統民族文化センター」
24	25	・自治体：韓国 釜山広域市 ・行　事：第8回福祉リハビリシニア(KORECA)展示会 ・期　間：6月26日～6月28日 ・場　所：BEXCO ・連絡先：釜山広域市庁 高齢化対策課	27

平和と繁栄のため済州フォーラム

5月20日から22日まで、韓国・済州島で「平和と繁栄のため済州フォーラム」が開催される。今回のフォーラムは、「信頼と和合の新しいアジアに向かって」という主題で約50ヶ国4000人が参加すると予想される。

済州フォーラムは、政界関係、経済系、学界、言論界等の多様な分野の専門家が参加し、韓半島及び東アジア地域の平和と繁栄を模索し、世界指導者及び関連専門家が集まるアジア代表フォーラムとして位置づけられている。

平和と繁栄のため済州フォーラムの開催背景

「平和と繁栄のため済州フォーラム」は、韓半島と東アジア地域の平和と共同繁栄を模索するため、域内多者協力論議の場として発足し、「済州平和フォーラム」という名称で2001年第1回フォーラムを開催して以来、2011年第6回フォーラムまで隔年制度で開催してきた。しかし、第6回フォーラムからその名称を「平和と繁栄のため済州フォーラム」に変更した後、2012年第7回済州フォーラムを皮切りに毎年開催している。

済州フォーラムは、韓半島と東アジアの平和定着と共同繁栄のためには個別国家の努力だけでは不十分であり、創造的な発想を基にした国際協力が必要だという認識の下、域内平和と協力のための「対話の場」を持続的に提供することで、世界平和及び国際協力に寄与するため「東アジア平和と繁栄」という一貫した主題に対する国際的コンセンサスを基に東アジアの平和と相互協力、発展に対する実践的方案を見つけることと同時にこれに対する未来志向ビジョンを提示している。

世界指導者及び関連専門家が集まる「アジア代表フォーラム」

今年で10回目を迎える「平和と繁栄のため済州フォーラム」は、世界指導者のみならず関連専門家の多くが参加する。2001年、初めて開催したフォーラムでは、「北東アジア共同平和と繁栄」という主題で、金大中元韓国大統領とウィリアム・ペリー元アメリカ国防長官等、9ヶ国350人が出席した。2009年第5回フォーラムには「相生と共栄の東アジア秩序：共同ビジョンに向かって」という主題で、潘基文国連事務総長、韓昇洙前韓国国務総理、ジョン・ハワード元オーストラリア首相等が出席した。去年開催したフォーラムには、ジュリア・ギラード元オーストラリア首相、サラーム・ファイヤード前パレスチナ首相、李肇星中国公共外交協会長、カーリー・フィオリーナ元ヒューレット・パッカードCEO等、58ヶ国3,734人が参加した。

平和と繁栄のため済州フォーラムは、開催回数を重ねる度に多様な主題で、色々な分野の専門家を招待し、アジアの新しいビジョンを探索する。持続可能な平和と

繁栄のため協力体系について論議することのみならず、世界各国の交流と協力を成し遂げる場を作ろうと努力している。

第10回を迎える「平和と繁栄のため済州フォーラム」

平和と繁栄のため済州フォーラムは、3日間、「東アジア平和体制の構築」から「2015年国連開発議題」に至る多様な主題を取り扱い、「全体セッション」と「同時セッション」に分かれて開催される。「全体セッション」では、開会式の基調演説、世界指導者セッション、特別セッション等の6個前後のプログラムが運営される。「同時セッション」では、分野別(外交安保、経済経営、環境、気候変化、女性文化教育、グローバル済州)としう全60前後のプログラムが準備される。

開会式及び世界指導者セッションには、ゲルハルト・シュレーダー(Gerhard SCHRÖDER)元ドイツ首相、ジョー・クラーク(Joe CLARK)元カナダ首相、スシロ・バンバン・ユドヨノ(Susilo Bambang YUDHOYONO)前インドネシア共和国大統領、ジョン・ハワード元オーストラリア首相、福田康夫元日本内閣総理大臣、李小琳(LI Xiaolin)中国人民対外友好協会長が出席する。その他主要セッションとしては、国連開発議題関連セッション、日中韓災難救助訓練センター関連セッション、次世代指導者フォーラム、平和と和解のための日中韓マスコミの役割セッション、外交官ラウンドテーブル等が構成されている。これ以外にも、今年は海外言論人、国際機構、海外機関、企業等への参加拡大により、第13回東アジアフォーラム連繋運営、KF公共外交ネットワーク関連会議、世界教育フォーラムの出席、国際機構連繋招待等を計画している。

また、韓国・アメリカ、中国、日本、ドイツの５ヶ国を代表する青年達が参加し、各国の世代葛藤事例を紹介し、解決方案を提示する討論セッションも整えている。

※ 第10回平和と繁栄のため済州フォーラムの詳しい内容とフォーラムのプログラムについては、公式 サイト(http://www.jejuforum.or.kr)を参照

フォーラムに参加するためには？

平和と繁栄のため済州フォーラム公式ホームページで、オンライン登録すれば参加できる。済州道民は住所認証を通して無料で参観できる。登録費用は次のとおり。

一般登録	1日	300,000 KRW
	2日	450,000 KRW
	3日	600,000 KRW

バイカル湖

ロシアの伝統食文化

ロシア・バイカル湖で「オームリ(Omul)」を食べよう！

昔から、シベリア人はタイガ(北方樹林)と湖付近で食べ物を調達し、捕まえた肉と魚は日に当て乾燥させ、塩に漬けて燻製にして食べることにより、保存期間を延ばしてきた。また、肉と魚にタイガの天然調味料を付け加えると、シベリアならではの独特な料理が出来上がる。

シベリアの代表料理：オームリ焼き

シベリアの料理の断然トップは、バイカル湖だけに住む「オームリ」という魚である。韓国語で「オムル(韓国語オームリの発音で、汚物という意味をもつ)」という単語とは違って、ロシアのオームリは清らかな水だけに生息するサケ科の銀色をした魚で、最大64ｃｍ、３ｋｇまで成長する淡水魚である。

「オームリ」の調理法は、①内蔵を除去し塩に漬ける方法と②内蔵を除去せずに塩に漬ける方法がある。魚の味を左右するのは、調理法と塩に漬ける時間である。通常1.5日間、少量の塩で漬けたオームリをバイカル湖の流水できれいに洗い落とす。洗い終わったオームリは、残った水気が落ちるよう頭を下にして日に当てる。この時、串を用いて魚の胴体を横に刺して干す。その次に、風通しが良い日陰で１～２日程度もう一度乾燥させる。魚の表面は完全に乾かして、中身はやや湿っぽく水分を残して乾かすため、燻製にすると魚の色が黄金に変わるのである。

また、直火で直接焼いて食べる「直火オームリ焼き」というものがあるが、これは頭を下に下げ串を刺して焼くが、この時串が尻尾まで貫通しないようにすることがポイントである。その理由は、焼く時にオームリが滑り落ちるためである。串を尻尾まで貫通せず、オームリを斜めに傾けて何回も回すと全面均等に焼ける。

Omul

バイカル湖の位置

*バイカル湖：バイカル湖は、約2千5百万～3千万年前に形成され地球で最も古く、孤立した所に位置しているため世界で最も豊富で珍しい淡水動物が暮らしている。植物は約1,080種、動物は約1,550種に至る。また、海抜高度1,500～ 2,000mの山に囲まれ、365の深谷から水が流れてきている。

オームリ(Omul)

オームリ料理の味とその特徴は？

燻製にしたオームリの皮は、一回で剥がすことができ、硬い肉質の中身は簡単に剥がれて小骨がない。オームリは、魚がもつ独特の生臭みも無く、香ばしい。バイカル湖の名物であるオームリをビールとウォッカと一緒に食べると、最高の相性をもつ。

一般的に、淡水魚は海水魚に比べ、味や栄養素が落ちると思われるが、オームリは高度不飽和脂肪酸が含まれ、カロリーが少なく心血管疾患にも効果がある。また、オームリを食べた後、１時間以内に体内で95%が消化されるので、太り気味の人も安心して摂取できる食べ物である。

韓国・全羅北道

全州ビビンバ

韓国内のもう一つの韓国
ダイナミック全羅北道

全羅北道は、面積8066.76sq.km(韓国全体の8.1%)で、187万人が暮らしている。韓国の伝統文化が保存されており、体験できる場所も多く、観光客が絶えず訪れている。全羅北道を隅々まで探ってみよう。

ユネスコも惚れた味、飲食創意都市「全州」

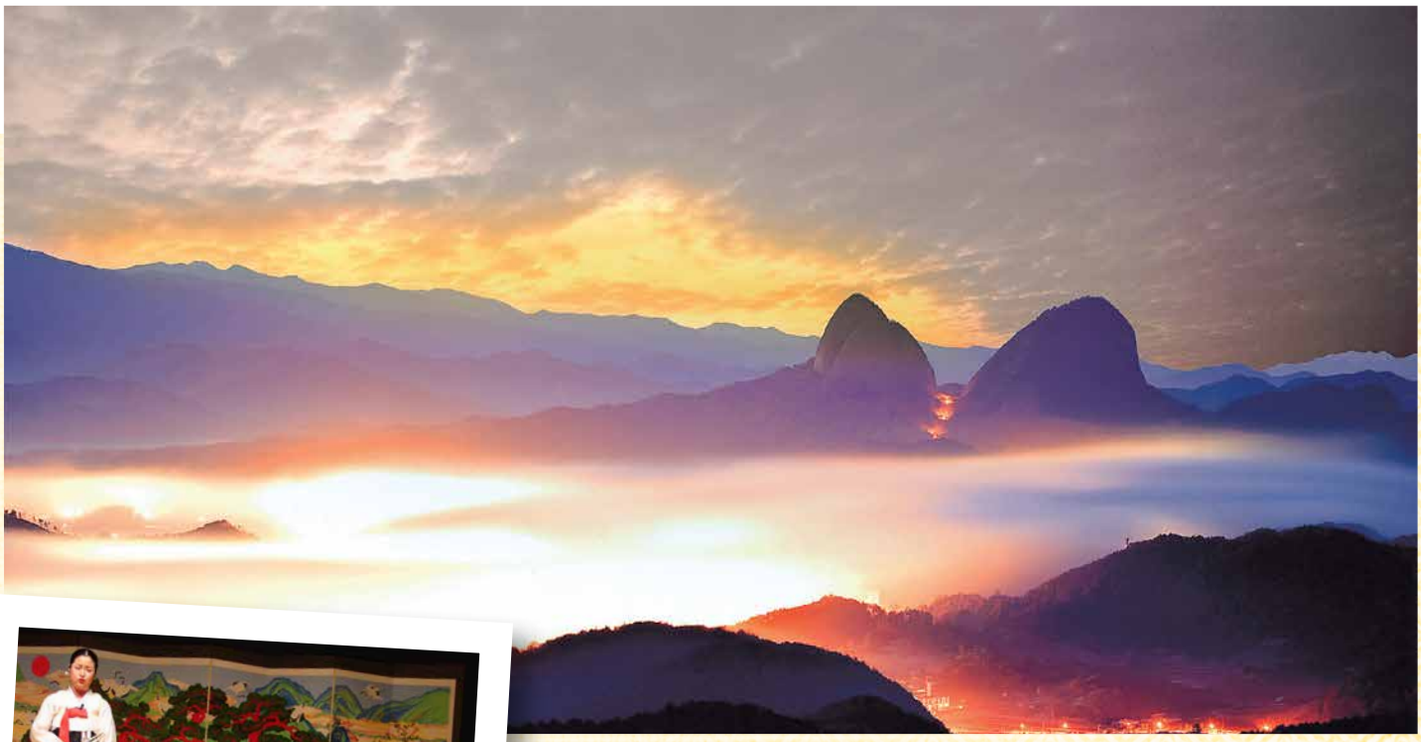
2012年ユネスコ飲食創意都市として選定された「全州」は、全州ならではの味と粋が世界人の心を魅了し、人類の文化発展に寄与する都市として認められた。全州を訪問すれば、次の3つを必ず食べてみよう！

- 全州ビビンバ：それぞれ違う材料を一つの器に入れ、それぞれの香り、色、音が調和を成しながら固有の味を出している。
- 全州式コンナムル(豆もやし)クッパと母酒：全州式コンナムルクッパに使われる「豆もやし」は全州の八味中の一つであり、風土病を予防する効果もあり、毎日の食卓に欠かさず出されたという記録がある。全州式コンナムルクッパは、全州母酒を一緒に飲むと最適である。
- 全州マッコリとカメク：全州マッコリは、まず色を見て、香りを吟味し、喉を通して心に収める。カメクは、店(カゲ)で飲むビール(メクチュ)の略語で、全州には独特なビール文化がある。

ユネスコ生物圏保存地域「高敞(コチャン)」と地球にやさしいグリーン生態都市「セマングム」

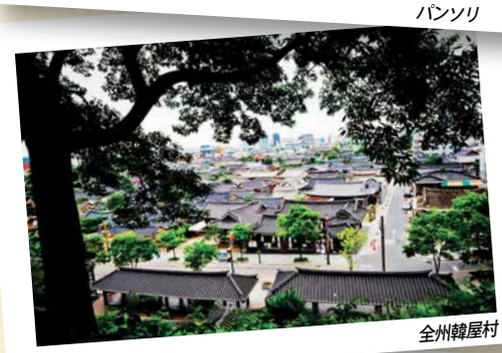
全羅北道・高敞郡は、2013年ユネスコ生物圏保存地域として指定され、干潟のみならず全地域が保存価値の高い生態系地域として認定された。中心地域として指定された「高敞干潟」は、入江の砂地、砂、混合干潟が調和を成して分布しており、絶滅危機種が安定的な生態系を形成できる重要生息地である。内陸の中心地域として指定された「禅雲山(ソヌンサン)道立公園」は、素晴らしい自然景観で、百済時代の威徳王の頃に創建された禅雲寺等、文化遺産が散在している。

北東アジア経済中心都市である「セマングム」は、世界最長の防潮堤33.9kmを築造し、国土を広め淡水湖を造成した。また、風力、太陽電池等、グリーンエネルギーの先端技術と自然環境が調和を成し共存する都市へと開発され、北東アジア経済中心地として跳躍しつつある。セマングムは、ベニスやアムステルダムのように、世界的経済力を備えた名品複合都市になることを夢見る。高付加価値を創出する未来型新産業と農業、観光、レジャー、科学研究、生態環境、文化等の機能が調和する最も創造的な夢の都市を作っていく計画だ。



馬耳山

パンソリ



全州韓屋村

茂朱(ムジュ)テコンドー院

伝統公演

全羅北道の文化と祝祭

全羅北道は、韓服(ハンボク、韓国伝統衣装)、韓食、韓屋が調和を成しており、韓紙、書道、韓国伝統音楽等、伝統と未来を繋ぐ文化中心地であり、朝鮮王朝の発祥地である。天主教(カトリック教)、円仏教、東学等の精神文化の拠点でもある。韓国民族の有・無形文化が大切に保存されおり、産業化が可能な文化コンテンツが豊富で世界向けの商品開発ができる資源が多様だ。これ以外にも、全羅北道で開催する祝祭は韓国のアイデンティティと固有性が残されている特別な祝祭も多い。

- パンソリ：K-popの源流ともいえる「パンソリ」がある。2003年にその独創性と優秀性が認められ、ユネスコの人類が語り伝える無形遺産の傑作に選定された。
- 全州韓屋村：年間6百人以上が訪れる韓国の代表的観光地である。また、国際スローシティーとしても指定されている。約7百軒の韓屋が続く塀と路地、門と窓、木と森、甕(カメ)と瓦等の些細な事からスローが持つ価値を発見できる。
- 茂朱(ムジュ)テコンドー院：清らかな地域である茂朱郡雪川面白雲山のふもとに位置する「テコンドー院」は、8千万の世界テコンドー人の教育、修練、研究の中心であり文化交流の場である。4,500席規模のテコンドー専用「T1競技場」と約4百人を受容できる室内ステージ、テコンドー研修院、テコンドー専門博物館、体験館等がある。茂朱テコンドー院は、世界テコンドー人の聖地であり、テコン文化を基にした新しい韓流を開拓する前進基地として注目されている。
- 全州国際映画祭：2000年第1回映画祭以降、独立映画(Independent Film；商業資本に依存せず、創作者の意図に従って制作した映画)、芸術映画、実験映画を通じて、観客と新しい疎通の場を設けた。
- 全州世界ソリ祝祭：2001年から始まり、韓国伝統音楽を世界に披露し、世界の多様な音楽遺産と交流している。伝統公演は韓国最高のアーティスト達が総出演し、最も韓国的な舞台を披露し、ワールド・ミュージックアーティスト達も全州を訪問し音楽祝祭の価値を一層高めている。

The Association of Northeast Asia Regional Governments

北東アジア地域自治体連合

The Association of Northeast Asia Regional Governments

(790-834)慶尚北道浦項市南区芝谷路394 浦項テクノパーク本部棟3階

T. +82-54-223-2317 **F.** +82-54-223-2309 **E-mail** near@neargov.org **Homepage** www.neargov.org